

第29回全国クラブチームサッカー選手権埼玉県大会要項

1. 名 称 第29回全国クラブチームサッカー選手権埼玉県大会
2. 主 催 (公財)埼玉県サッカー協会
3. 主 管 埼玉県社会人サッカー連盟
4. 協 賛 (株)モルテン
5. 開催期日 2022年6月5日(日)～2022年7月24日(日)
6. 競技会場 県内各地
7. 参加資格

(公財)日本サッカー協会に登録された第1種(準加盟を含む)のクラブチームであって、同様に全国社会人サッカー連盟に登録されたチームであり、次の資格を有するものに限る。2022年度加盟登録手続きを完了し、会費納入済みであること。

- ①. 参加チームは、Jリーグ・JFL・地域リーグ加盟チーム、自衛隊・自治体職員・大学・高専・専門学校の連盟加盟チームは出場出来ない。
- ②. 参加チームは、大学・高等専門学校・専門学校生の単独チームは認めない。但し、同一学校の選手が5名以内であれば認められる。
- ③. 参加選手は他のチームと二重登録されていないこと。
- ④. エントリーは、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参している選手22名以内に限る。
- ⑤. 外国籍選手の登録は1チームにつき3名以内とする。但し、「JFAのプロ選手の契約登録および移籍に関する規則」の条件に該当する場合は、この3名を超えて登録するものとするが、いずれの場合も外国籍選手の登録は5名を超えてはならない。(準加盟チームは除く)※同一試合には3名が同時に出場することが出来る。
- ⑥. (公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームに所属する選手の移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、適用対象となる選手の年齢は第2種年代のみとし、同一「クラブ」内の2種登録チームから選手を参加させることが出来る。第1種・シニアの年代の選手は適用対象外とする。但し、2種登録選手は3名までエントリーを認め、3名が出場できる。

- ⑦. 参加選手に疑義のある場合は、あらかじめ所属地域サッカー連盟の意見を求めることとし、なお疑いのある場合、関東社会人サッカー連盟常任理事会がこれを裁定する。
- ⑧. 予選から全国大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加することは出来ない。
- ⑨. 主催者は、参加者の負傷、疾病の応急処置以外、一切の責任を負わない。なお、参加者は健康保険証を持参しスポーツ傷害保険に加入していることが望ましい。

8. 試合規定

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会競技規則による。

但し、以下の項目については特に本大会用として大会規定を定める。

- ①. プレーの時間:70分(前・後半35分)
- ②. ハーフタイムのインターバル:10分(前半終了から後半開始まで)
- ③. 試合の勝者を決定する方法(70分で勝敗が決しない場合):PK方式にて決定する。但し準決勝、決勝は20分の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式にて決定する。
延長戦に入る前のインターバル:3分
PK方式に入る前のインターバル:1分
- ④. 交代できる数:5名
- ⑤. 交代要員の数:7名
- ⑥. テクニカルエリア:設置する。
戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人の役員が伝えることができる。
- ⑦. ベンチに入ることができる人数:13名(交代要員7名、役員6名)
- ⑧. 準決勝、決勝は第4の審判員を任命する。
- ⑨. アディショナルタイムの表示:実施する。
- ⑩. 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数:2名
- ⑪. 退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができず、以後の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ⑫. 大会期間中警告が2回になった選手は次の1試合の出場を停止する。
- ⑬. 大会使用球:モルテン社製 検定球5号球 (全国社会人サッカー連盟支給)

- ⑭. 装身具:一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする

9. その他

【競技上の注意事項】

- ①. 試合開始90分前までに各チームは競技場へ到着し大会本部役員へ到着連絡をしてマネージャーズミーティング会場を確認して下さい。
- ②. チーム代表者はメンバー提出用紙を下記マネージャーズミーティング会場で大会本部役員へ提出をすること。
- ③. 試合開始70分前に、両チーム責任者、審判団及び運営責任者の出席によりマネージャーズミーティングを開催する。各チームの責任者は、フィールドプレイヤー及びゴールキーパーのユニフォーム(日本協会の「ユニフォーム規定」に基づいた参加申込書に記載した正副2組のユニホーム一式(写真可))及び保護具(ヘッドギア、フェイスマスク、膝や腕のプロテクター等)を使用する場合は保護具を持参すること。
- ④. 試合開始7分前に、競技者は本部前に集合して審判員より用具の点検を受ける。靴や競技者の保護具その他が競技者自身あるいは他の競技者に危険を及ぼすと主審に判断された場合はその危険な物を取り除かなければ、その競技者は試合に参加することを認められない。一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
- ⑤. PK方式が行われる場合は、競技者は監督の指示を受けるため、或いは飲水するため1分間程度自分のベンチ前へ行くことができるが、フィールドの外へ出る事は認められない。

【注意事項】 ※ ユニフォームについて

- ①. 大会実施年度の本協会「ユニフォーム規程」に則る。
- ②. ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は正の他に副として、正と色彩(濃淡)が異なり判別しやすいユニフォーム色彩を参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること。
- ③. シャツの前面・背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツに選手番号については、付けることが望ましい。
- ④. ユニフォームの色・選手番号は、参加申込締切日以後の変更を認めない。
- ⑤. ユニフォームに他のチーム(各国代表、プロクラブチーム等)のエンブレム等が付いているものは、着用できない。
- ⑥. ユニフォームへの広告表示については(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。なお、会場によって広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。
- ⑦. ストッキング(ソックス)の上にテープやバンテージを巻く、あるいはアンクルサポーター等を着用する場合、そのテープ等の色はストッキング(ソックス)の色と同じものに限る。
- ⑧. ユニフォームのシャツが縞(縦縞も横縞も)の場合は、台地(白布地等)(縦30cm×横30cm位)に背番号を付けて判りやすくすること。
- ⑨. 登録のユニフォームと一部でも異なる色のものを着用している選手は、出場を認めない。また、試合では、控えのGKをエントリーすることを原則とするが、何らかの事情によりGKの控えがない場合は、試合当日のマネージャーズミーティングにおいて、審判団と交代GKのユニフォームの着用について確認する。その場合、必ず交代GKとして出場するフィールドプレイヤーの背番号のついたユニフォームを着用するか、背番号がつけられる状態(当て布)のGKユニフォームを用意すること。(交代GKのユニフォームが準備できない場合も確認する)